

事故防止 37号
2020年6月30日

関係団体 殿

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故情報収集等事業
執行理事 後 信
(公印省略)

医療事故情報収集等事業
2019年年報および第61回報告書の送付について

平素より当機構の実施する事業にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

当機構においては、医療事故防止事業部において、医療事故情報収集等事業の円滑な実施に努めているところです。

この度、医療事故情報収集等事業 2019年年報および第61回報告書を取りまとめましたので送付申し上げます。ご査収くださいますようお願い申し上げます。また、各都道府県知事、各保健所設置市長、及び各特別区長宛にもお送りしておりますことを併せてご連絡いたします。

本年報および本報告書は、公表後、当機構のホームページにも掲載しております (<http://www.med-safe.jp/>)。

なお、本年報及び本報告書は7月3日(金)に公表の予定となっており、それまでの間は非公表の取り扱いとなります。公表までの間、取り扱いにはくれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

今後とも本事業の一層の推進に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業 第61回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2020年1月～3月）

（1）医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2020年			合計
	1月	2月	3月	
報告義務対象医療機関による報告件数	335	264	508	1,107
参加登録申請医療機関による報告件数	32	22	24	78
報告義務対象医療機関数	274	274	274	—
参加登録申請医療機関数	815	817	820	—

（第61回報告書 16頁参照）

表2 事故の概要

事故の概要	2020年1月～3月	
	件数	%
薬剤	99	8.9
輸血	1	0.1
治療・処置	338	30.5
医療機器等	31	2.8
ドレーン・チューブ	89	8.0
検査	66	6.0
療養上の世話	362	32.7
その他	121	10.9
合計	1,107	100.0

（第61回報告書 17頁参照）

（2）ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

1) 参加医療機関数 1,256（事例情報報告参加医療機関数 661施設を含む）

2) 報告件数（第61回報告書 20頁参照）

①発生件数情報報告件数：217,378件

②事例情報報告件数：6,078件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 持参薬の処方・指示の誤りに関する事例 【24～47頁参照】
- (2) 輸液ポンプ・シリンジポンプの設定に関連した事例 【48～61頁参照】
- (3) カテーテル・チューブの接続部の選択を誤った事例 【62～73頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

- (1) 抗リウマチ剤（メトトレキサート）の過剰投与に伴う骨髄抑制 【76～86頁参照】
（医療安全情報No.2、第2報No.45）
- (2) 眼内レンズに関連した事例（第15回報告書） 【87～97頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ（<http://www.med-safe.jp/>）をご覧ください。